



# 住まいのかわら版 No.40



こんにちは！ またまた間が空いちゃいました。ごめんなさい。ベコリ(〇〇)  
今回は、当社が今年の2月から4月の間に地元の公衆浴場『御前湯』の大規模的な改修工事をさせて頂いたので二日市温泉・武蔵寺・天拝山などについて調べてみました。お時間がある時に読んでみてください。

## 『藤原虎麻呂』と『武蔵寺』

孝徳天皇(645~655)のころ筑紫国次田郷(筑紫野市二日市・山口)簾というところに、藤原登羅麻呂という人がいました。近くの長の峰という山合から怪火が夜毎に出るので住民がおびえていると聞き、数人を連れて退治に出掛けました。

山に入り怪火をめがけて弓で矢を射たところ、矢は命中し大地を揺るがすようなうめき声が聞こえ、怪火は消えました。

松明をともし火の消えたところを見ると点々と赤い血が流れていました。そこで、その跡を追い山坂を越え、岩肌を乗り越え猛獣の声、怪鳥の鳴き声を耳にしながら明け方、木矢侍という所に来ました。

そこには天に届くような高い樁があり、矢はその樁の幹に当たり、まるで人の体に矢が突き刺さった様に、どくどくと血が流れていました。

その夜のことで。登羅麻呂の夢枕に薬師如来様が十二神将を率いて現れ『この樁の樹で薬師如来の像を刻み、厚く仏教を信ぜよ』と言われました。そこで登羅麻呂は良工を招いて、この樁を切り薬師如来と十二神将を刻み、天拝山の麓に一堂を建ててその像を安置し毎日拝みました。これが武蔵寺のはじまりと言われています。



## 『菅原道真』と『天拝山』

二日市温泉の南側にある山を天拝山といいます。菅原道真が大宰府に流されこの山に登り頂上の岩に立ち無実の罪が晴れます様に天を拝まれたので天拝山と言う様になったと言われています。



## 『御前湯』の案内

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 休館日    | / | 毎月第3水曜日 及び 1月1日                                      |
| ご利用時間  | / | 入湯 午前9時~午後9時<br>休憩室 午前9時半~午後5時                       |
| ご利用料金  | / | 入湯料 大人200円 子供100円<br>休憩室利用料 大人500円 子供250円<br>(入湯料含む) |
| 会議室利用料 |   | 2000円(定員20名)   |
| 子供室利用料 |   | 2000円(定員24名)   |
| 所在地    |   | 筑紫野市湯町2-4-12   |
| 電話番号   |   | 092-928-1126(いい風呂)                                   |

今年の春にリフレッシュ・オープンしていますので、是非！ご利用ください。入口の屋号入り灯籠は、当社から寄贈させて頂いていますのでこちらも

## 『藤原虎麻呂』と『二日市温泉』

登羅麻呂は、30歳を過ぎてても子供に恵まれませんでしたので、天拝山の薬師堂にこもり薬師如来様をお願いしたところ、一子を受けるとのお告げがあつてのち、玉のような美しい女の子が生まれました。その名を瑠璃と名付けて可愛がって育てました。

瑠璃姫は或る日当時流行した疫病にかかり高熱にうなされ命が危うくなりました。そこで再び薬師如来におすがりしたところ「ここから東の方に紫の雲がいつもたなびくところがある。その下にあしの生えている沼があり、そこに温泉がある。この湯にゆあみさせると必ず病気は治るであろう」とのお告げがありました。その翌朝、夜もしらじらと明けそむるころ東の方を見ますと、お告げの通り、ひとむれの紫雲が次田沼の上にたなびいていました。それで人々を集め茂ったあしを刈り、たまった水をのけるとこんこんと温泉が湧き出してきました。そこで幕を張り瑠璃姫をゆあみさせると病気は全快しました。

この温泉が幕を張ったので幕湯といい、のちの薬師温泉(現二日



## 《東洋エクステリア》からのお知らせです

弊社が販売しております車庫用はね上げ式門扉「オーバードア」におきまして、まれにアーム取付部品が使用中に破損し、最悪の場合門扉が落下するということが判明いたしました。(平成13年6月以前に設置商品)つきましては、オーバードア商品をご使用中のお客様には、引き続き安心してお使いいただくために落下防止機構付きの部品に無償交換(全機種対象)させていただきます。誠に恐縮ではありますが、ご使用中の商品をご確認いただき、下記窓口までご連絡いただきますようお願い申し上げます。多大なご迷惑とご心配をおかけすることに対し、心よりお詫び申し上げます。

フリーダイヤル(オーバードア専用)

0120-601-852

受付時間(午前9:00~午後6:00)

※土日祝祭日及び夏季・冬季休暇を除きます

- \* こういう通知が製造メーカーより届きましたので、お知らせいたします。
- \* ご不明な点があれば中西建設にお電話頂いても構いませんよ。当社が代行して確認・手続きを行いますので、お気軽にお電話ください。



萬葉集

湯の原(はる)に 鳴く葦田鶴(あしたず)の 吾(わ)が如く 妹(いも)に恋(こ)ふ(う)れや 時わかず鳴く

奈良時代に、大伴旅人が大宰帥(大宰府の長官)として大宰府に赴任し、半年程たって妻を亡くしました。旅人は、今は亡き妻を偲び毎日が悲しみのあけくれでした。心の痛みを癒すべく官舎をいでて、この温泉に入浴した時に、しきりに時をわかず鶴が鳴いていました。

「ああ、あの鶴も我が如く妻を恋慕ってしきりに鳴いているのだろう」と、もり上がる妻恋いの心を歌った歌です。

(この歌碑は、二日市温泉の通りにありますよ。)



中西建設

〒818-0058 筑紫野市 湯町1丁目11-1

世界でただひとつ、あなただけの部屋作りをしてみませんか？  
お手伝いさせていただきます。  
住まいに関することなら、何でもご相談ください。